



独立行政法人国立病院機構

松江医療センター
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.mmedc.jp/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 嘉藤 一博



ニューフェイスと満開の桜
 今年度も4月1日、満開の桜の中で36名の新規採用者を迎えた。どの笑顔も希望に満ちている。新しい看護部長・副看護部長のもとで、ゆっくりでいいから仕事に慣れて、全員がそろって成長し当院の戦力になって欲しい。

もくじ

米国胸部疾患学会に参加して(アメリカ サンディエゴ) .. 2	健康スマイル教室好評開催中 .. 10~11
教育研修部から「大事なもの」 .. 2~3	新和設備工業(株)の皆さんによる奉仕活動 .. 12
看護の日のイベント~地域の方のお役に立てる看護を目指して~ .. 4~5	天理教による「ひのきしん」奉仕活動 .. 12
院内認定授与式 .. 6	鳥取大学医学部神経内科医師による外来診療開始 .. 12
永年勤続表彰 .. 7	キャラクター募集について .. 13
しじみ会 (四月さくら号・五月鯉のぼり号・六月あじさい号) .. 7	お花見寿司 .. 14
医療安全研修Ⅰ「MRIの吸着体験」 .. 8	新人医師紹介 .. 14
院外行事「とっとり花回廊コース」 .. 8	地域医療連携室だより .. 15~16
2階病棟社会見学「日本庭園 由志園」 .. 9	開業医紹介コーナー .. 17
第4回「しんじ湖会」総会・親睦会を終えて .. 9	外来診療表 .. 18

前号は158号の誤りでした。

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



米国胸部疾患学会に参加して（アメリカサンディエゴ）

呼吸器内科医師 西川 恵美子

飛行機！あんな紐も足もついていない恐ろしい乗り物に何時間も乗れというか！

そんな海外食わず嫌い歴＝年齢の私が生まれて初めて海外に出かけたのが、このたびの出張でした。同行の矢野先生、小林先生に手続きを手伝ってもらい、持っていくものまで相談し、「発表は無事終わるだろうか。海外で買い物できるかな。水も買えなくて、そのまま一人で干からびないかなあ。」とびくびくしながら出発しました。

学会の開かれるサンディエゴまで、ロサンゼルス空港を經由。入国審査も税関の手続きも初めてで、緊張の連続の初日でした。

サンディエゴはロサンゼルスから約160km、メキシコ国境に接し、「カリフォルニア発祥の地」とも呼ばれています。現地は私たちの到着前日まで36度の猛暑が続き、大規模な山火事があったとのことでしたが、私たちの滞在中は晴天に恵まれたうえ、日陰で肌寒い程度の過ごしやすい気候でした。

私たちの滞在したホテルは町の中心に位置するガスランプクオーターにありました。このエリアは19世紀のおわりごろには船員たちの盛り場として栄えた歴史地区で、ヴィクトリアン調の建物が点在しています（有名な幽霊ホテルもあります）。朝、朝食をとる屋上のカフェテリアからの眺めは最高でした。

一方で盛り場の名残か、レストランやジャズやブルースバー、が立ち並んでいるため、ステージから流れる音や酔っ払い集団のはしゃぐ声が一晩中通りにあふれていました。

私たちが毎朝徒歩で学会の会場に向かうころは、町全体が閑散としていました。

学会は朝8時ごろからはじまり、間に2-3時間程度の空き時間を挟んで14時ごろから夕方までというのが連日のスケジュールです

私の発表は4日目。座長の先生の助けもあり、たどたどしい英語でなんとか乗り切ることができました。会場から観光エリアがそれほど離れていなかったため、空き時間を利用して、観光にも出かけることができました。

バルボアパークの美術館は中世から近代の作まで思いがけず名品揃い。オールドタウンで西部劇さながらの幌馬車に乗って写真を撮り、選択をあやまり、トウモロコシの粉でできた謎の料理を食べ（その後の食欲がなくなり）ました。

会場のすぐ裏手の港から船にのってコロラドに美味しいお昼ご飯を食べにいったり、ペトコパークで（特にファンではない）サンディエゴ・パドレスのキティボールペンを買ったりしました。

残念ながら、食事はどうしても口に合わないこともあり、食欲がわかない日もありましたが、そんな日には現地のスーパーにみんなで出かけてお惣菜や巻きずし、サラダやピラフ、果物を買込み、三人のうちの誰かの部屋に集まって、夕食をとりました。

おかげで「干からびる」ことなく、すべてを満喫して戻ってくることができました。

矢野先生、小林先生、私のお守りを本当にありがとうございました。

教育研修部から

大事なものの

私事ですが…。

5月下旬に体調を崩して4泊5日の手術・入院生活を送りました。まさに「医者の不養生」というやつです。イケマセンネ。ご存知のように疾病には原因があります。遺伝、環境要因、感染症、ストレス…と様々。今回私が病気になった理由ももちろんありますが、集約するとほぼ“自分のあり方”が原因だと思っています

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

す。いつまでも20代の気持ちで仕事をしていました。無理をしていました。

最近、自分が「得意」かつ「やりたいこと」の領域で、自分を必要とされることが多くなりました。これはホントにとってもありがたいことです。期待やリクエストに応えていくと、さらに大きな仕事があります。これもホントにありがたいことです。しんどい

のですが、こなし続けていくと自分に返ってくるものが大きく、成長スピードが速くなっていく自覚がありました。そこに何とも言えない気持ち良さを感じていたのは事実です。そうしているうちにいつの頃からか「自分のペース」を見失っていたように思います。「自分のペース」でなくなっていることに気がついてはいたのですが、自分としては応え続けることで、「なりたい自分」に近づけると信じていたし、そうやって自分が走り続けることが正義というか、何となくそんな風に思っていたのです。ただ、実際にはその状況に体がついていきませんでした。こんな風になるまで本気で気がつかなかったのは恐ろしいことで、これはまさに私の不徳の致すところでした。

病気がわかった時、そして入院が必要ということがわかった時、家族や職場の皆さん、ひいては患者さん・ご家族にご迷惑をかけることになり、大変申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。しばらくの間自分を責め続けました。重病でもないのに、最悪のケースも含めていろいろと考えてしまいました。考えても仕方がないのに。こんな仕事をしてるから、病気の状態は自分でよくわかってるつもりなのに。突然不安でいっぱいになるのです。常にそのことが頭の中にあり、気になるのです。ある時はそれを笑いに昇華させてみたりするけれど、ある時にはそれがイライラのきっかけにもなったり、クヨクヨもしてみたり。とにかく短期間にこれまで経験したことのないいろんな感情を経験しました。

昼間何もすることなく、じーっと天井を見ていると、いろんなことを考えるもんですね。

子供の頃楽しかったこと。好きだった遊び場。幼なじみ。今何やってんだろ？

生きてきた意味、今生きている意味、これから生きる意味。

やりたいこと、行きたいところ、読みたい本、観たい映画。

トンカツ食べたい、すし食いたい。

そろそろワールドカップ。

やり直したい過去、取り返したい発言、自分の欠点。

ああみんなごめんなさい。

仕事のこと。家族のこと。ありがとう。ごめんね。

あー酒飲みたい。早く家に帰りたい。早く退院したい…云々。

ぼんやり考えていても必ず最後は「早く家に帰りたい」になってしまいます。患者さんはいつもこんな気

持ちなんだと思いました。土曜日・日曜日に主治医の先生が術後の様子を診に来てくれたのも嬉しかったし、看護師さんが話し相手になってくれたのも嬉しかった。丁寧に処置をしてくれたのも嬉しかった。看護助手さんが、体拭きタオルを持ってきてくれたのも嬉しかったし、下膳を手伝ってくれたのも嬉しかった。栄養士さんが食事のことを聞きに来てくれたのも嬉しかった。牛乳飲めないんです。何より嬉しかったのが、退院の朝。退院手続きを済ませて病院の正面玄関を出た時の爽快感！

「自由だっ！」

あの爽快感は一生忘れません。こういう経験はできることならしない方がいいのは当然のことですが、走り続けて「大事なもの」を見失いつつあった自分にとっては貴重な経験であり、大きな収穫でした。

自宅療養中、出会った「今を生きるための現代詩（講談社現代新書）」という本。そこに最初に引用されている谷川俊太郎の『生きる』。この詩を読むのは中学生の時以来だったと思います。

「(前略)

生きているということ

いま生きているということ

泣けるということ

笑えるということ

怒れるということ

自由ということ・・・」

中学生の私の心には響かなかったのに、退院直後の私にとっては心揺さぶられるものでした。読んでボロボロ泣いてしまいました・・・。

と、徒然に書いてしまいました。悪い癖です。そろそろ終わりにしましょう。体調を崩して得たもの、取り戻せたもの、見えてきたものは全部「大事なもの」です。体調が回復してきた今、医療者として、教育に携わるものとしてこの「大事なもの」を伝えていけたら、と思うようになりました。そしてこれまでの全力疾走ではなく、少しゆっくり。でもゆっくりしすぎて前進しないのはつまらないので、ちゃんと前向いて歩いていこうと思います。「大事なもの」が落ちこまないように、ちゃんと抱きしめて。

最後に。

みなさんもそれぞれの立場で大変な御苦勞をされているとお察し致します。

どうかくれぐれもご自愛ください。

看護の日のイベント ～地域の方のお役に立てる看護を目指して～

3階病棟 看護師 福田 愛菜

当院は呼吸器疾患を中心とした急性期医療、神経・筋疾患、重症心身障害のセーフティネットの役割を担う医療機関です。昨年12月に外来管理診療棟(総合診療棟)が完成し、本年2月から電子カルテの稼働と新棟の運用が開始されました。病院の基本理念の一つである「地域との連携を深め、地域医療に貢献すること」を念頭に置き、日々の診療や院外活動を行っています。

さてナイチンゲールの生誕日にちなんで制定された「看護の日」の5月12日に合わせ、院内においては、玄関ロビーに「看護の日」の由来を表示してナイチンゲール像を設置し、入院患者様にはカードを添えたティッシュを配りました。



玄関ロビー:ナイチンゲール像

また売店横のロビーに「看護の日ギャラリー『働くお父さん・お母さん』」と題して、当院の職員の子供さんたちが描いた18枚の絵を展示しました。2才から12才までの個性あふれるほほえましい絵に患者さん、ご家族、そして職員も心が和むとの感想をいただきました。

院外に向けては毎年、地域の方々への健康応援と共に、地域に根差した病院としての当院の紹介をかねて、看護フェアを開催しています。今年も松江市にあるスーパーマーケット「みしまや」の店舗前広場をお借りし、看護フェアを開催しました。事務職員の協力でテントを設営し、医師、栄養士、看護師と各部署からの応援を受けました。

看護フェアには、30～80歳代と幅広い年齢層から、総勢82名の方に参加して頂きました。新病院のパンフレットと、ティッシュ、バンドエイドを配布しました。血圧測定、体成分分析測定、骨密度測定を行い、医師による医療相談、管理栄養士の栄養相談を行いました。



スーパーみしまや:看護フェア



売店横ロビー:働くお父さん・お母さんの絵

体成分分析では、栄養評価や筋肉量も分かり、参加者がそれぞれに自分の測定結果を見て、「自分は健康には気を遣っているから、予想通りの結果だったわ。」と笑顔を見せてくださった方や、「もうちょっと体重減らして、食べ物も気をつけんといけんな。」と自分の健康に向き合っている方もいらっしゃいました。



インボディにて体成分分析

また、血圧が高くて気になっていた方や、食事についてどのように改善したらよいか分からないという方は、「先生や栄養士さんに聞いてから帰るわ。」と積極的に相談を受けてくださいました。皆様から「体重を頑張って落としたよ。」という声や「肉は控えめにし、魚中心の食事をしているよ。」という声が聞かれ、ご自分で健康に気を付けていらっしゃる方が多かったように感じました。「特に健康管理などしていない。」と言う方も、ご自分の健康を振り返る機会となったように感じました。

測定結果に関して質問があった時、看護師として説明やアドバイスが出来たらよかったなと感じました。これを機に、地域の方々のお役に立てるような看護を目指してさらに勉強していきたいと思いました。たくさんのご参加ありがとうございました。

看護フェアについては、後日、山陰中央新報の紙面を飾り、病院のPRができました。



医師の医療相談



管理栄養士の栄養相談



筆者は一番右

院内認定授与式

晴れて18名の院内認定者誕生

教育研修部副部長 山本純子

6月11日、12日、17日の3日間にわたり、平成25年度院内認定者の認定証授与式を行いました。呼吸療法院内認定士3名、医療機器マスター院内認定看護師8名、神経筋疾患看護院内認定看護師4名、重症心身障害児（者）看護院内認定看護師3名、計18名の院内認定者が誕生いたしました。平成23年度から始まった院内認定制度により、院内認定者は合計38名となりました。

院内認定者は、月1回の医師、臨床工学技士、理学療法士、認定看護師等による授業を受け、実技試験、筆記試験、事例の発表を通して、後進を育成する力についての評価を受け、見事に合格されました。

院内認定者の皆様には、当院の医療と看護の専門性が発揮できるよう今後の活躍を期待しておりますと共に、教育研修部として支援してまいります。



院内認定証授与式を終えて

1階病棟 看護師 田村芳郎

一年間の研修期間を経て院内認定者となり、他の認定者らと共に去る6月17日に認定証書を受け取ることが出来ました。

医療機器マスターの認定を今回受けることが出来ましたが、今後も知識経験を増やし、病棟、病院のお役に立てればと考えております。

今年度も他の認定の資格を取るべく取り組んでいますが、今まで勉強してこなかったことが恥ずかしいくらいにわからないことが多いことを実感しています。歳を積み重ねる毎に衰えていく脳力と戦いながら、今後も日々研鑽を重ねていきたいと思っております。



呼吸療法認定士になりました

理学療法士 安川達哉



6月11日に院内認定証の授与式が行われ、私は呼吸療法の院内認定を受けました。厳粛な雰囲気の中、重症心身障害児（者）看護や医療機器マスターの授与者らとともに、気持ちを新たにしました。

呼吸療法認定は当院独自の制度として行われ、三学会合同呼吸療法認定士（以下、認定士）の資格取得が要件の一つとされています。現在は教育研修部主導で受験勉強をサポートする講習会が開かれており、計画的に勉強を続けることができる環境があります。私も参加しましたが、他職種の仲間を得て勉強してみると知識の習得によく、業務単位レベルの用語理解が早く進むことに加え、色々な視点を知ることができたと思います。これは私にとってよい経験で、チーム医療上のコミュニケーションを取る際には特に生かされ、よりスムーズな業務遂行に繋がっていることを日々実感しています。

院内認定を受けたことで部署内の立場は微妙に変化しており、認定者としての自覚について考える日々です。今後は認定者同士による自主的・自律的活動を目指しつつ、患者さんに安心、安全、かつ信頼される医療を提供できるよう、研鑽を積みたいと思っております。

永年勤続表彰

庶務班長 岩井 睦 司

4月17日(木)に国立病院機構理事長による永年勤続表彰の伝達式が当院大会議室において行われ、院長から表彰状と記念品が一人ひとりに授与されました。伝達式の後、院長から長年の勤務に対するねぎらいの挨拶がありました。表彰された方々は、次のとおりです。

【勤続30年表彰】

副臨床検査技師長 大西 浩
看護 師 米本 景子

【勤続20年表彰】

看護師長 金津 貴子 看護師長 山本 純子
看護師長 本間みどり 看護 師 藤田真奈美

この度、30年永年勤続表彰をいただくこととなりました。伝達式では、院長先生より身に余るねぎらいや励ましのお言葉を頂き大変嬉しく思いました。振り返れば、国立大阪病院（当時）に非常勤職員として採用されてから5施設でお世話になりましたが、この表彰に値する業績を上げた思い出はありません。しかし、与えられた職務に真摯に取り組めたことは自負しております。また、永年勤続できたのは、自分だけの力だけではなく、上司や同僚、家族など多くの方々の支えがあったからこそだと感謝しております。医療技術の発展に伴い臨床検査分野も日進月歩しておりこれから

副臨床検査技師長 大西 浩

もずっと勉強だと思って職務に取り組もうと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



(筆者は前列左から3人目)

しじみ会 【四月さくら号】・【五月鯉のぼり号】・【六月あじさい号】

リハビリテーション科 作業療法士

- ・レンゲ咲き 蜂寄り添い 蜜集め
「となりの住人」
- ・晴天に ベランダ独占 団地鯉
「小次郎さん」
- ・衣替え クールビズで 颯爽と
「永島さん」
- ・新緑の 洞をくぐり見る 大瀑布
「N」さん
- ・マンションの ベランダ隅に 初幟
「京の静さん」
- ・凜とした あやめの姿 お手本に
「白イルカさん」
- ・鼻歌で 北国の春 つい歌う
雪解け水に こぶしの花に
「愛佳さん」
- ・母の日に 孫の笑顔は 花になり
「ふた葉さん」
- ・紫陽花が 花を開いて 梅雨来る
「カラス貝さん」
- ・秋空に 舞う旗は鯉か 我が虎か
「三度笠さん」
- ・ほほなでる やさしい風が 春を告げ
「コスモスさん」

医療安全研修 I

『MRIの吸着体験』

撮影透視主任 林 裕 之

平成26年2月より新棟移転に伴いMRIが更新されました。以前は0.35テスラのMRIを使用していましたが更新後は1.5テスラとなっています（テスラとは磁束密度の単位）。市販のエレキバンの強さは0.08テスラだそうです。これと比較しても容易にその強さは想像できると思います。つまり、とても強力な磁石の力を使って様々な検査をしていることとなります。0.35テスラと比較しても画像の良さは歴然としています。しかし、その反面金属等の吸着には十分な注意が必要となります。これだけの強い磁石を使用しているため引っ張られる力は想像をはるかに超えます。酸素ボンベや車椅子をはじめとした医療機器等は持ち込み禁止となっています。これらの吸着事故は多数の報告があり海外では死亡例も報告されています。したがって、検査前は患者自身、医療従事者による金属チェックが必須となります。



体験談

「MRIの吸着体験とAEDの操作体験」

療育指導室 保育士 橋 本 由 美 子

松江医療センターにはもちろん、身近なスーパーや観光施設などAEDが設置してあるのをよく見かけるようになりました。私たち療育指導室スタッフも患者さんとの社会見学のために病院外に出かけることがあります。今回のAEDのデモンストレーションと人形をつかってグループに分かれての実施はとても学びが多い研修でした。病棟にある場所は知っていましたが実際使用したこともなく、今回、AEDを実際使わせてもらい大変良かったです。また、MRIの教育DVDを視聴し、その後は実際MRI室に移動しMRIの吸着体験をさせていただきました。身近にあるヘアピンやボールペンなどがとても危険なことが起こる原因と知り、びっくりしたと同時に学ぶことができたことは本当に良かったと思いました。ありがとうございました。



院外行事「とっとり花回廊コース」

療育指導室 児童指導員 湯 浅 堅 司

「綺麗なお花を観に行きましょう！」「一日ゆっくり出来るので美味しいランチも食べたいですね！」患者さんとあれこれ楽しい思いを巡らせながら計画を練り、5月20日(火)に院外行事「とっとり花回廊コース」に行ってきました。午前中は境港市にある「夢みなとタワー」に行ってお花を楽しむ、午後からは「とっとり花回廊」に行ってお花を楽しむ、行き帰りはドライブを楽しむといった「トリプルで楽しむプラン」を満喫してきました。

「夢みなとタワー」での昼食では、皆さんで談笑しながら新鮮なお刺身や海鮮などに舌鼓を打ち、魚市場やお土産もの屋をみてまわりました。「とっとり花回廊」では、広い回廊内をゆったりとお散歩しながら色鮮やかな季節の花を觀賞しておられました。なかでも胡蝶蘭でできているドレスを観て「わあ！素敵！」と感激しておられる姿やご家族と嬉しそうにソフトクリームを頬張られる姿が印象的でした。また、帰りの道中や病院に帰ってからも「花回廊楽しかったね！」と言葉を頂く機会もあり、本当に嬉しく思いました。

これからも患者さんやご家族さんにとって「参加して良かったな」と思って頂けるような院外行事の企画、運営を行っていきたくと思います。そして、患者さんに負けないくらい自分自身も楽しんでいきたくと思います。



2階病棟社会見学「日本庭園 由志園」

療育指導室 保育士 越 野 幸 子

お天気に恵まれた5月1日（木）、「日本庭園 由志園」に行ってきました。入ってすぐに名物の3万輪もの牡丹がお池に浮かぶ「池泉牡丹」があり、一同うっとりで見入ってしまいました。園庭内には木陰もあり、新緑の美しさと心地よい風を感じながら、ゆっくりと散策を楽しむことができました。一年中、牡丹の花が楽しめる「牡丹の館」では大輪の牡丹の美しさと香りで優雅な気分を味わいました。患者さんも周りの景色をよく見ておられ、普段とは違う雰囲気を受け止めておられました。ご家族と一緒にゆったりとした時間を過ごされ、思い出に残る社会見学になったことと思います。



第4回「しんじ湖会」総会・親睦会を終えて

松江医療センター しんじ湖会 会長 武 田 弘

平成26年6月21日第4回総会・親睦会を開催いたしました。当会は旧職員で構成された会員相互の親睦を図り、また病院の発展にいささかでも寄与できたらとの目的で発足しました。総会の席上、徳島院長のご挨拶で松江医療センターの現況についてお話がありました。新病棟、新外来管理診療棟が完成し、玄関前の緑地帯の整備を待つばかりのようです。外観、内部環境ともに一変し、導線が長く木造の往時の建物とは隔世の感を覚えます。最新医療機器が整備され新しい時代に対応されています。又、徳島院長がおっしゃっている「人材育成の充実」、外部の方より対応について「感じがよい」との声を聴くにつれ、内心、誇らしく思っている次第です。正に「組織は人なり」と思いました。

親睦会には徳島院長、現職の方々、会員多数が集まり懐かしい方にたくさんお会いしました。昔話に花が咲き、和やかな会も恒例の大合唱で盛会裏に終了し、本当に楽しい親睦会でした。

「しんじ湖会」運営につきましては、平素より病院には大変お世話になっており感謝いたしております。職員の皆様には当会についてご理解をいただきまして、今後、一名でも多くの方が入会されるよう努力してまいります。次回、第5回総会は平成28年に予定いたしておりますので引き続きよろしくご指導のほどお願いいたします。

一段と進む少子高齢社会、様々な困難な社会情勢の中、松江医療センターが持てる診療機能を更に充実され、地域拠点病院としてその役割を十二分に発揮され、益々発展していけますよう祈念いたします。



健幸スマイル教室好評開催中

教育研修部副部長 山本純子

看護部広報委員会では、入院患者さんや外来患者さんとそのご家族に、健康で幸せな毎日を送っていただき、笑顔で生活していただけることを願い、毎月第3水曜日に「健幸スマイル教室」を開催しています。毎回、10名前後の方が参加してくださっています。今年度の開催予定をお知らせいたします。多数の御参加をお待ちしております。

〈平成26年度の予定〉

日時：毎月第3水曜日 15時～15時30分

場所：5階病棟 研修室

月 日	テ ー マ	講 師
4月21日(月)	薬について	薬剤師 錦織 良平 先生
6月16日(月)	食中毒について	看護師 杉野 彩香
7月14日(月)	食事で夏バテ予防	管理栄養士 山下 紗也佳 先生
8月18日(月)	熱中症予防	看護師
9月22日(月)	嚥下について	言語聴覚士
10月20日(月)	風邪予防の対策	看護師
11月17日(月)	がんの化学療法	看護師
12月15日(月)	リラクゼーション	理学療法士
1月19日(月)	ノロ対策	ICTリンクナース
2月16日(月)	風邪予防と栄養	栄養士
3月16日(月)	嚥下について	摂食・嚥下障害看護認定看護師 穴道 洋五



栄養士のお話

5月健幸スマイル教室 「在宅酸素の取り扱い方」

開催日：平成26年5月19日 講師：呼吸器内科医師 岩本 信一

*在宅酸素療法とは…

健康を維持するのに必要な酸素を十分に取り込めない**高度慢性呼吸不全**などの患者さんが、医師の処方により在宅で酸素吸入を実施するものです。

*在宅酸素療法の目的…

酸素吸入をしながら趣味を楽しんだり、自由に外出したり、仕事をしたり、生きがいのある生活を送りながら療養を行うことができる。

*適応基準…

- ・高度慢性呼吸不全例のうち、在宅酸素療法導入時に動脈血酸素分圧55mmHg以下の者
- ・動脈血酸素分圧60mmHg以下で睡眠時又は運動負荷時に著しい低酸素血症をきたす者であって、医師が在宅酸素療法を必要であると認めた者

*在宅酸素療法の効果…

入院回数を減らすことができる、活動的になれる、生きがいのある生活をおくることができる、長生きできる、息切れの改善、心臓への負荷を軽減、記憶力・注意力低下の改善など。

＊酸素濃縮器設置の条件



＊酸素ボンベ取扱い上の注意点…

- ・強い可燃性をもつ気体に近づけない
- ・火気・油脂厳禁・直射日光が当たる場所や高温になる場所に放置しない
- ・転倒・落下などの衝撃を与えない

$$\text{酸素ボンベ使用時間 (連続の場合)} \\ = \text{ボンベ容量 (L)} \div \text{処方流量 (L/分)}$$

※呼吸同調器の使用で、使用時間が約3倍程度長持ちします

担当：5階病棟看護師 山根実香

6月健幸スマイル教室 「食中毒について」

開催日：平成26年6月16日（月） 講師：4階東病棟看護師 杉野 彩香

□ 食中毒の原因は何？

食中毒の原因は、「細菌」と「ウイルス」です。細菌は湿気を好むため、梅雨時に食中毒が増え始め、夏場（6～8月）に多く発生しています。



□ 知っておきたい食中毒の主な原因と特徴

- ・腸管出血性大腸菌（O157やO111など）
→食肉に付着し、生肉、加熱不十分な肉を食べることによって発症します。
- ・サルモネラ菌
→牛・豚・鶏などの食肉、卵などが主な原因食品となります。ペットなどによって食べ物に菌が付着する場合があります。
- ・ブドウ球菌
→人の皮膚やのどにいます。調理する人の手に傷があったり、傷口が化膿している場合は食品を汚染しやすいです。毒素は熱、乾燥にも強いです。
これらの症状は嘔吐や下痢、腹痛です。ほかにも、ノロウイルスなどがあります。

□ 食中毒予防の3原則

食中毒の原因となる細菌を、

①つけない・・・

細菌をつけないためには、手を洗うことが大切です！

必ず手を洗うタイミング

- ・調理を始める前、生の肉や魚・卵を取扱う前後
- ・調理の途中で、トイレに行ったり鼻をかんだ後
- ・おむつを交換したり、動物に触れたりした後
- ・食卓につく前、残った食品を扱う前



②増やさない・・・

食べ物を低温で保存することが重要です。スーパーで購入後、置いてある氷を使いましょう。

冷蔵庫の中は、冷えにくくなるため7割以上入れないようにしましょう。

③やっつける・・・

肉料理は中心部まで加熱することが大切です。中心部を75℃で1分以上加熱するのが目安です。

ふきんやまな板、包丁は使用后洗剤で洗ってから熱湯をかけて殺菌しましょう。

□ 食中毒かな？と思ったら・・・

嘔吐や下痢の症状は、原因物質を排除しようという体の防御反応です。医師の診断を受けずに、市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用しないようにし、早めに医師の診断を受けましょう。

新和設備工業(株)の皆さんによる奉仕活動

庶務班長 岩井 陸 司

社会貢献の一環として地域公共施設への奉仕活動に積極的に取り組まれている新和設備工業(株)(松江市平成町)さんから今年もボランティア活動の申し入れがあり、6月7日(土)に屈強な男性社員21名により病棟内の空調設備のフィルター・換気扇口等の清掃をしていただきました。丁度冷房の時期に差しかかるときであり、空調設備のフィルター清掃は重要な作業であります。3人1組体制で、慎重に取り扱っていただき、しかもできばきと作業をこなしておられました。お陰さまで環境良く冷房の運転にはいることができます。ありがとうございました。



天理教による「ひのきしん」奉仕活動

庶務班長 岩井 陸 司

毎年の恒例行事となっている天理教の奉仕活動「ひのきしん」草刈りについては、予定していた4月29日が土砂降りであったため、6月8日に変更となり、梅雨空の中、草刈りをしていただきました。前日までは晴天でありましたが、開始1時間前より小雨状態となり、やはり梅雨の季節なので徐々に激しくなってきましたが、なんとか清掃活動が進み綺麗になりました。

参加いただきました天理教の皆さん、ありがとうございました。

ところで「ひのきしん」に漢字を当てると「日の寄進」となることから、一日の働きをお供えする(時間のお供え)という解釈があるそうです。



鳥取大学医学部神経内科医師による外来診療開始

去る6月6日(金)より、当院外来において鳥取大学医学部神経内科医師による外来診察を開始いたしました。これにより外来受診のため鳥取大学医学部附属病院まで通院する必要のあった患者さんも、より身近な当院で鳥取大学医学部神経内科医師による診察を受けることが可能となりました。また、開業医の先生方にとっても当院での外来診察日に合わせて患者さんをご紹介頂くことで、鳥取大学医学部神経内科医師に紹介することが可能となりました。

なお、鳥取大学医学部神経内科医師による外来診察日は隔週金曜日となっており、診察を行う医師は交代制となっておりますのでご了承願います。

鳥取大学医学部医師による外来診察予定日(7月~9月)

7月4日、7月18日、8月1日、8月15日、8月29日、9月12日、9月26日

キャラクター募集について

管理課長 荻田 正人

ただ今「ゆるキャラ」ブームが全国に拡大中ですが、看護師募集の際などにキャラクターがあると病院をアピールしやすいとの看護部長の提案により、当院もキャラクターの募集を行うことになりました。応募資格は職員だけでなく、職員家族、患者さんを対象としています。キャラクターについては以前いちど提案があったのですが、デザインを描く人がいないのではとのことから話だけで終わりましたが、今回は職員以外にもお知らせをしての募集となりました。

みなさん、松江医療センターに親しみの持てるアイデアあふれるキャラクターをお待ちしていますので奮ってご応募ください。

■ 応募先
 窓口 | 松江医療センター管理課 管理課長
 (受付時間) 8時45分～17時15分 (土日祝除く)
 郵送 | 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
 松江医療センター管理課 管理課長
 TEL:0852-21-6131(代)

1. 募集内容 親しみが持て、松江医療センターを表現できるキャラクターのデザイン
2. 応募資格 松江医療センター職員及び家族並びに入院患者さん及び外来患者さん
3. 応募規定 ①応募用紙はA4番用紙とし、キャラクターのデザイン・着色をしてください
②手書きまたは電子データ(jpg等の画像形式又はpdf形式)によるもの
4. 応募方法 応募は窓口・郵送・電子メールで受け付けます。応募の際は、以下の事項を明記して下さい。
①氏名
②住所
③連絡先(電話番号、お持ちの方はメールアドレス)
④キャラクターの名前とコンセプト
5. 応募期間 平成26年6月10日～平成26年8月31日
6. 応募先
〈窓口〉 松江医療センター 管理課長 (TEL0852-21-6131(内線2321))
受付時間 午前8時45分～午後5時15分(土日祝除く)
※ 但し入院患者さんは病棟看護師への提出も可
〈郵送〉 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
松江医療センター 管理課長
〈電子メール〉 [電子メールアドレス: masato.kanda@mmedc.jp](mailto:masato.kanda@mmedc.jp)
7. 選定方法 選定審査委員会で審査・選定します
8. 賞・副賞 最優秀賞 1名(1万円相当の記念品)
9. 結果発表 審査結果については松江医療センターホームページ及び院内掲示版にて公表します。
10. その他 ①採用された作品の著作権(著作権法第27条及び28条に定める権利を含む)は、松江医療センターに帰属します
②応募作品は返却出来ませんので、ご了承ください
11. 問合せ先

松江医療センター 管理課長
 TEL0852-21-6131 (内線2321)
 電子メールアドレス: masato.kanda@mmedc.jp

お花見寿司

栄養管理室 栄養士 香田 早苗

数年前より院内の桜の開花に合わせ、折りに詰めた散らし寿司をお花見寿司として提供しています。

今年も桜の開花予想が三月下旬と早く出ていました(最近早くなりましたね)。

院内の桜といえば、今回の外来棟の移転で本数がかなり減ったのですが、残った桜は開花予想通り三月下旬頃からとても綺麗に咲きだしました。そんな中今年四月二日、無事開花中にお花見寿司をご用意する事が出来ました。

今回、いつもは寿司を提供していない食事の患者さんにも提供したいと思い、主治医の許可をもらい患者さん本人にも聞き取りをしたり、色々調整を行い、寿司を食べられる方に提供できました。

努力の甲斐あって、お花見寿司は患者さんから「美味しかった」とうれしい言葉を頂くことができました。

栄養管理室・厨房も新築移転し、ピカピカの綺麗で明るい所で調理盛り付けを行っています。

これからも安全で患者さんに美味しかったと喜んで頂けるよう、栄養管理室も頑張っていきますのでよろしくをお願いします。



新人医師紹介



いとう のりまさ
伊藤 則正

- ①呼吸器外科医長 伊藤 則正(いとう のりまさ)
- ②診療科：呼吸器外科
- ③経 歴：平成5年 鳥取大学医学部卒
平成10年 松江医療センター外科医師
平成12年 国民健康保険智頭病院外科医長
平成13年 公立社総合病院麻酔科医長(外科兼務)
平成14年～鳥取大学医学部第二外科助手・助教
平成17年～米国ピッツバーグ大学外科学客員研究員
平成19年～平成26年6月 NHO近畿中央胸部疾患センター呼吸器外科医長
- ④専 門：呼吸器外科・一般外科
- ⑤趣 味：釣り
- ⑥ご挨拶：14年ぶりに当院に勤務することになりました。近畿中央胸部疾患センター呼吸器外科での7年間の経験を生かし当院および地域に貢献していけるよう努力してまいります。



にしむら ゆきこ
西村 友紀子

- ①麻酔科医師 西村 友紀子(にしむら ゆきこ)
- ②診療科：麻酔科
- ③経 歴：平成6年 鳥取大学医学部卒業・同附属病院
平成8年 鳥取赤十字病院
平成9年 鳥取大学医学部附属病院
平成21年 国立病院機構米子医療センター
- ④専 門：日本麻酔科学会指導医
- ⑤趣 味：読書・弓道・水彩画など
小説も漫画も読みますが、特に高村薫が好きです。
- ⑥ご挨拶：何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室だより 第17号

2014年7月

地域医療連携係長 山崎 みどり

1. 地域医療連携室のご案内

ご挨拶

平素より地域医療連携室に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、平成26年2月より新メンバーを加え新たなる出発をいたしました。

地域医療連携室は、近隣の病院や診療所、介護施設などからのご紹介により当院を受診される患者さまに、安心して御受診していただく為の窓口です。

地域医療連携室メンバー、一丸となり先生方からのご紹介に対して「迅速・丁寧・真心」をモットーとして頑張っています。また、当院へご紹介いただいた患者さまの逆紹介にも積極的に取り組んでおります。地域医療機関の皆様との連携を密にして、患者さまにとって最良の医療が提供できるよう頑張りますので今後ともよろしくお願ひ致します。



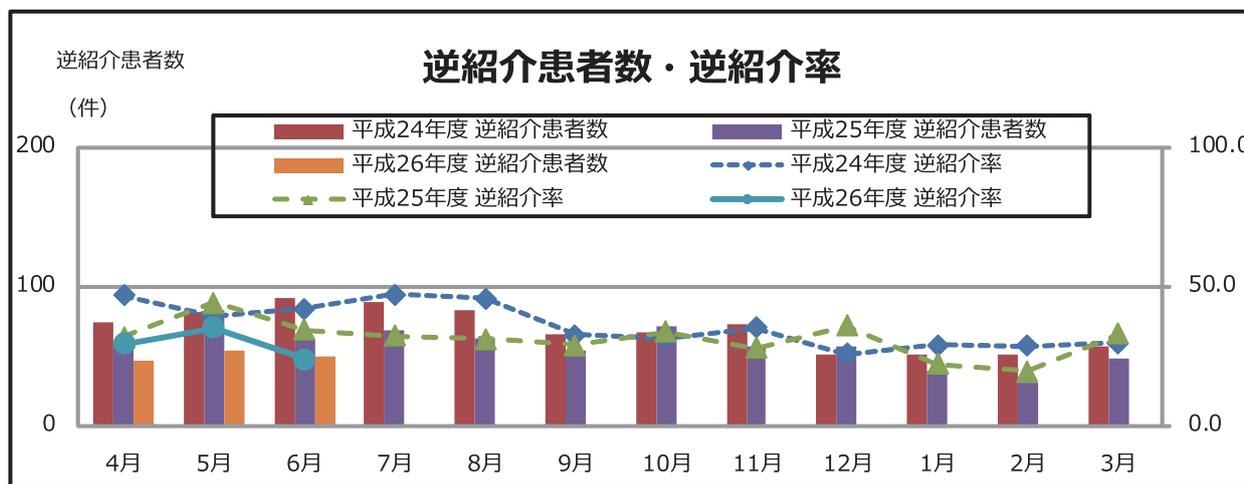
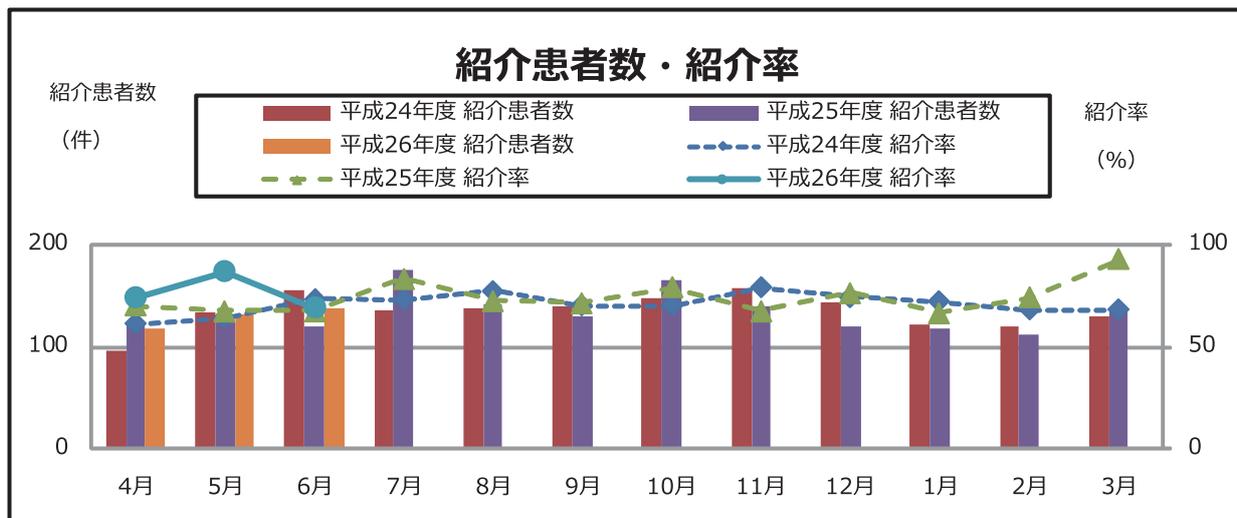
(写真左より、来海事務助手、山崎係長、矢野副院長、松本社会福祉士、福井看護師)

医療機関からの紹介患者さまの診療予約業務を行っております。(ご予約はFAXにて承ります。)

電話 0852-24-7671

FAX 0852-24-7661

2. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



3. 退院支援データ

毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者	64人	57人	55人									
退院先												
在宅	17人	12人	15人									
施設	0人	2人	0人									
病院	2人	2人	2人									

●●● 開業医紹介コーナー ●●●



当院は平成14年1月11日に松江の住宅地である古志原で開院いたしました。

専門は消化器内科ですが、一般内科・小児科も診察しており、土曜日の午後も診察していますので、どうぞお気軽にご来院下さい。診察には十分に時間をかけ、常に丁寧な診察を心掛けております。

当院では口からの内視鏡検査よりも苦痛の少ない経鼻の胃内視鏡検査や近年増加傾向にある大腸がんの検査である大腸内視鏡検査なども実施しております。又、各種ワクチンの接種など幅広く診療を行っています。

松江医療センター様とは呼吸器疾患を中心に連携をとらせてもらっており、肺炎、閉塞性肺疾患などの症例を紹介させてもらったりしています。医療センターの先生方には非常にお世話になっており、感謝申し上げる次第です。

近年は、松江市における救急医療の崩壊が叫ばれており、私達開業医も地域医療を保持するために体力が続く限り頑張っていく所存でございますので、今後ともよろしく願いいたします。



おむら内科クリニック
院長 小村 秀史

〒690-0012

松江市古志原町5-4-8

電話 0852-31-5588

休診日 日曜・祝祭日 木午後

☆土曜日午後の診察時間

14:00～17:00

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成26年 7 月 1 日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	曜日	神田	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 神田 響 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子
		多田	神田	岩本	西川	木村	
神経内科		矢野	門脇	池田	矢野	小林	呼吸器一般
		下山			足立	隔週 鳥大医師	呼吸器一般
外科		德島		目次		伊藤	呼吸器一般
		門永					呼吸器一般
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 久保田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 齋田 (予約)	齋田 (中村) (予約)	呼吸器一般
	予防接種	中村	中村	久保田	中村	久保田	【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二
特 殊 外 来	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【外科】 德島 武 目次 裕之 伊藤 則正 門永 太一
	睡眠時無呼吸 外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術（肺癌・自然気胸他） 呼吸器外科・一般外科
特 殊 外 来	息切れ 外来		呼吸器内科 担当医(予約)				呼吸器外科・一般外科
	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	呼吸器外科・一般外科
特 殊 外 来	咳嗽外来					池田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
特 殊 外 来	アスベスト 外来		小林 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)		【麻酔科】 西村友紀子
	嚔下障害 外来		下山 (予約)				麻酔科領域
特 殊 外 来	神経難病 外来		下山		足立芳樹		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30
	筋ジストロフィー 専門外来				下山 (予約)		
その他	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661

特 殊 外 来	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00~17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,400円
	睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00~16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00~15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30~11:00 (要予約) 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 9:00~12:00 嚔下障害外来 (要予約)
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00~12:00 神経難病外来
特 殊 外 来	筋ジストロフィー 専門外来	診療日：毎週木曜日（予約＝指導室まで）9:00~12:00 内容と特色：筋ジス病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院（筋ジスドック）も受け付けています。
	セカンド オピニオン 外来	診療日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。